

まちづくり交付金 事後評価シート
次第浜地区

平成22年3月

新潟県聖籠町

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	聖籠町		地区名	次第浜地区			面積	59.5ha							
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	386.7百万円	国費率	0.398									
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		都市計画道路次第浜線、町道(仮)浜山1号線 他31路線													
			提案事業		苗木配布(花いっぱい事業)、ふれあいセンター建設、エコモバス社会実験													
	当初計画から削除した事業		基幹事業		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響								
			提案事業		エコモバス社会実験			他路線も一括で社会実験を行うため、次第浜地区のみ積算することが困難であり、単独費対応となった。		まちづくり交付金対象事業ではないが単独費で社会実験を行うため、影響はないと思われる。								
	新たに追加した事業		基幹事業															
			提案事業															
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成21年度		変更		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ							
	指標1	職住近接の就業者数	人	3,859	H12	3,930 (4,000)	H21	モニタリング	評価値	3,863	達成度	あり なし	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因(総合所見)	土地区画整理事業の住宅供給が期待よりも振るわなかった。	フォローアップ予定時期	H22年4月頃
	指標2	居住者数	人	2,047	H16	2,380 (2,600)	H21	モニタリング	評価値	2,058	達成度	あり なし	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因(総合所見)	土地区画整理事業の住宅供給が期待よりも振るわなかった。	フォローアップ予定時期	H22年4月頃
	指標3	高齢者福祉施設の利用待機者数	人/年	19,883	H15	7,950 (0)	H21	モニタリング	評価値	0	達成度	あり なし	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因(総合所見)	高齢者福祉施設が2箇所開設したことにより、待機者数が大幅に減少された。	フォローアップ予定時期	H22年4月頃
	指標4	高齢者福祉施設までの時間	分	15 (地区中心から聖籠はすがたまで)	H16	3	H21	モニタリング	評価値	3	達成度	あり なし	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因(総合所見)	高齢者福祉施設が2箇所開設したことにより、通所時間が大幅に短縮された。	フォローアップ予定時期	確定
	指標5							モニタリング	評価値		達成度	あり なし	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ							
	その他の数値指標1	聖籠町の人口	人	13,872	H16			モニタリング	評価値	14,120	達成度	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因(総合所見)	町人口の増加傾向により、将来的には土地区画整理事業地内の更なる人口増が期待できず	フォローアップ予定時期	H22年4月頃	
	その他の数値指標2							モニタリング	評価値		達成度	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標3							モニタリング	評価値		達成度	1年以内の達成見込み	あり なし	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ予定時期		
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 地区内の土地区画整理事業により大規模宅地開発が行われ宅地不足が解消されたため、町内のミニ宅地乱開発等の抑制となっている。 地区内に新たな行政区も誕生し、ふれあいセンター建設後は既存行政区住民との交流も期待できる。 																	
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等							
	モニタリング						都市再生整備計画に記載し、実施できた											
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した											
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											
住民参加プロセス						都市再生整備計画に記載し、実施できた												
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した												
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												
持続的なまちづくり体制の構築						都市再生整備計画に記載し、実施できた												
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した												
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった												

様式2 - 2 地区の概要

次第浜地区(新潟県聖籠町) まちづくり交付金の成果概要

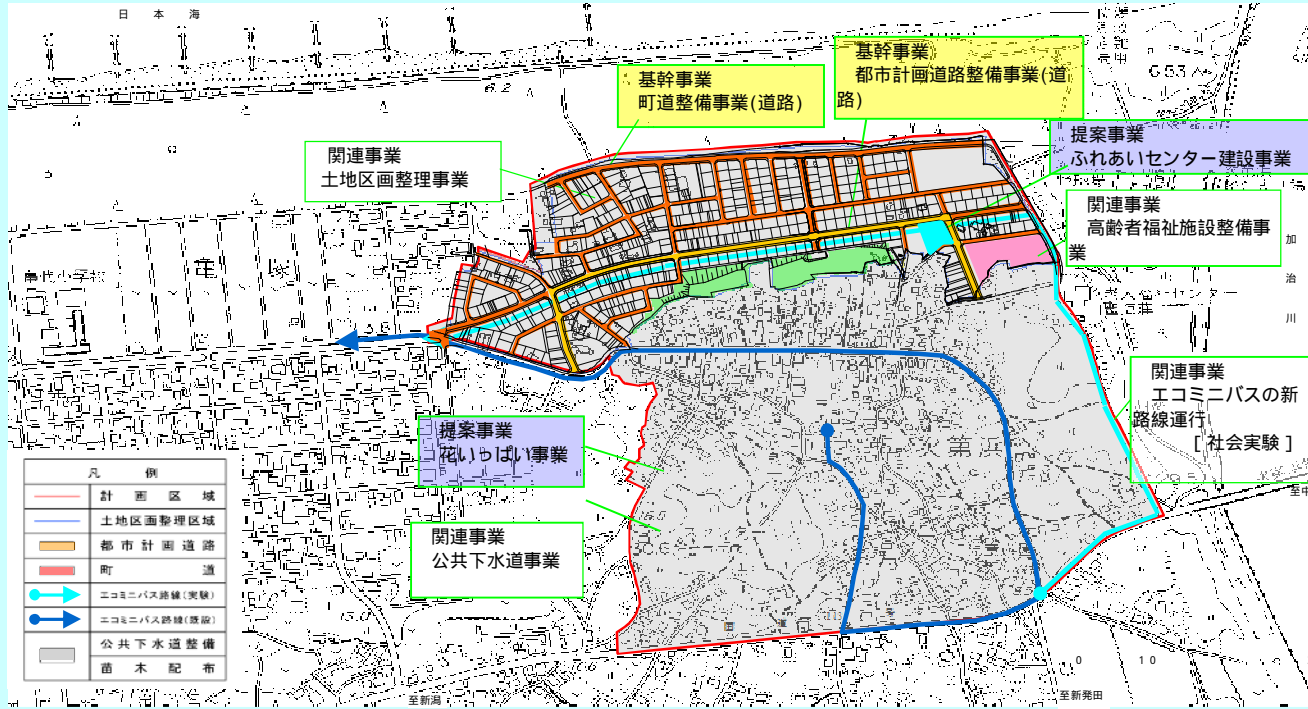
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 就業者世代と高齢者世代が調和し、住民全てが安心して暮らせるまちづくり 目標1: 町内企業に通勤する就業者のために職住近接型住宅地の供給を図る。 目標2: 定住人口の増加を図ることにより地域の活性化を誘導する。 目標3: 高齢者福祉施設の利用待機者を解消するために福祉施設の立地誘導を図るとともに、施設利用者の利便性向上を図る。	職住近接の就業者数	単位: 人	3,859	H12	3,930(4,000)	H21	3,863	H21
	居住者数	単位: 人	2,047	H16	2,380(2,600)	H21	2,058	H21
	高齢者福祉施設の利用待機者数	単位: 人/年	19,883	H15	7,950(0)	H21	0	H21
	高齢者福祉施設までの時間	単位: 分	15	H16	3	H21	3	H21
		単位:		H		H		H



(仮称)ふれあいセンター



土地区画整理事業地内道路



介護老人保健施設
「汐彩の郷」



介護老人施設
「加治川の里」

まちの課題の変化 新潟東港工業地帯をはじめとする町内企業の就業者用住宅地が不足し、次第浜地区においては、人口減少や高齢化に伴う地域の衰退が課題となり、開発が遅れている浜山地区では、道路等の都市基盤施設の整備が不足し、聖籠町では、デイサービス並びにショートステイの利用待機者が年間約2万人も存在していたが、土地区画整理事業により住宅地供給が可能となり、道路、上下水道等の都市基盤施設整備も完了し、汐彩の郷や加治川の里の開設によりデイサービス等の待機者数が大幅に減少した。
ただし、土地区画整理事業による住宅供給が期待よりも振るわなかったため、新たなコミュニティを発展、維持させるためには更なる販売促進が必要である。

今後のまちづくりの方策 (改善策を含む) 土地区画整理事業の保留地販売を促進し、その後、換地への定住促進を図るため、土地区画整理事業に関するPR強化を行う。